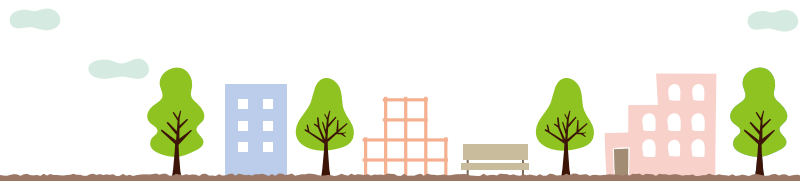


# 寿地区

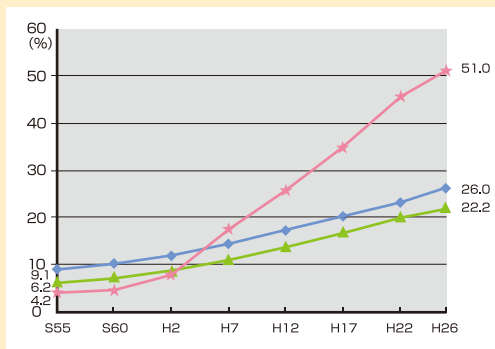
扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部



## 地区の現状 ..... この地区はこんなまち

かつては日雇い労働者のまちであった寿地区は、平成25年度に高齢化率が50%を超え、横浜市平均、全国平均よりも高い数値となっており、現在では、福祉のまちへと変容しつつあります。少子化は進んでいるものの、地区内には保育園・学童保育・青少年広場があることから、昼間の児童人口は高く、鯉のぼり大会や運動会などを通して交流がはかられています。また、四季折々を感じる行事も多くあり、まちの活性化にもつながっています。

### <65歳以上人口比率(高齢化率)の推移> (単位:人)(各年とも3月末現在)



- ※全国  
H22以前：国勢調査結果(各年10月1日現在)  
H26年：総務省発表人口推計値(H26年10月1日現在概算)
- ※横浜市  
H22以前：国勢調査結果(各年10月1日現在)  
H26年：年齢別男女別人口(H26年9月30日現在)
- ※寿地区  
S55年のみ国勢調査結果(簡易宿泊所のみ値)  
S60以降は寿地区高齢者調査、寿地区人口調査結果(各年11月1日現在)

★第2期計画の中で誕生した寿町のアイドル！  
“コトブキンちゃん”



コトブキンちゃん



## この地区の 良いところ

- ◆ 高齢者や障害者が安心して使うことのできる社会資源が多い。また、関係機関の支援者が、支援が必要な住民一人ひとりに柔軟な対応をしてくれている。
- ◆ たくさんの地域行事が行われている。地域の人たちが「なにをしてるんだろう?」と関心を持ち、各行事への参加や他住民との交流につながるためのきっかけ作りになっている。
- ◆ 自由な発想と活動ができるまち。自分の思いや考えをのびのびと表現し、行動することができる雰囲気がある。
- ◆ 助けあいの「心」がある。住民一人ひとりをまち全体で支えあっている様子がある。
- ◆ 自分の生活や健康状態にきちんと向き合い、変えていこうと考えている人に対し、支援者が積極的にサポートを行っている。
- ◆ 医療機関等が生活に根差した支援を行ってくれる。服薬支援でも毎日その人が来たくなるような雰囲気関わってくれている。
- ◆ まちがコンパクトにまとまっており、コミュニティがしっかりしている。

### 寿地区の行事 春・夏編

住民の方々に、季節の流れを感じてもらうため、防災に意識をもってもらうため、地域の方々が顔をあわせ助けあう関係づくりを進めるため…寿地区では、1年間を通して様々な行事を行っています。

4月には「鯉のぼり大会」。住民の方々や近隣の保育園児が協力して、寿町総合労働福祉会館前の広場に鯉を飾ります。温かい春風に泳ぐ鯉が気持ちよさそうです。



7月には「七夕まつり」。こどもたちが短冊を書き、大人たちが寿公園に竹を飾りつけます。竹の高さは10mほど！まっすぐ天を突く竹竿は圧巻です。

8月にはことぶき打ち水大作戦、ことぶき夏祭りが開催されます。夏は寿でも華やかに賑わう季節です。



## 寿に住んでいる、寿で育ったと、堂々と言えるまち

### 今後に向けて

- ◆ 社会資源や支援の方法等を外部の人からもっと見えやすくする必要がある。
- ◆ 地域の人たちが「不安があるとき」「何かしたいけれど、何をしたらいいかわからないとき」に相談できる窓口や情報提供を充実させる。
- ◆ 地域行事等を通して、他地域との交流を更に増やしていく。

## 目標と具体的な取組

### 寿地区の“えん”結び ～小さなえんから大きなえんへ～

- ◆ みんなの運動会や福祉まつりなどをきっかけとして、横のつながりや異世代交流の幅が広げられるよう、中身を工夫しながら続けていこう。
- ◆ 社会資源ツアーなどを通して、寿に携わる人たちがお互いのことを知り、また、外部の人に寿について知ってもらう手段のひとつとしても活用していこう。
- ◆ こどもも含め、寿の中で顔を合わせる人どうしが日常的なつながりが持てるように、運動や外遊びを通して交流を進めよう。

### 寿地区の元気！ ～自分らしく元気でいられるまちへ～

- ◆ 「マップを片手に気軽にどこでも血圧測定」を合言葉に、健康に対する意識が芽生えるきっかけづくりをし、何かあった時の相談先も知ってもらおう。
- ◆ 寿に住む人たちが抱える病気や障がい等について理解が進むよう、相談会や研修会などの取組をしていこう。
- ◆ 寿地区で行われている「健康」に関する取組を広くみんなに知ってもらえるように、情報提供の方法を工夫していこう。



# 防災に対する意識を高める！

◆ 地域防災拠点運営委員会と連携しながら、防災活動に関する取組をしよう。

## 寿地区での取組 ことぶき花いっぱい運動

平成18年に、路上への不法投棄防止を目的に「ことぶき花いっぱい運動サポーターの会」が発足し、地域住民を中心に約100人の会員が定期的に寿町の清掃活動をはじめ、花を植えたプランターを設置することで地域の美化に貢献しています。また、道路美化・安全確保だけでなく、地域のコミュニティ醸成にもつながる取組となっています。



## 寿地区の行事 秋・冬編

寿の秋は、スポーツの秋、食欲の秋、そして防災の秋です。10月には中消防署や伊勢佐木警察署、地域団体など多くの協力のもと、「防災パレード」を開催します。同じ月には防災拠点運営委員会による地域全体での「防災訓練」も。地域が一丸となって防災啓発に努めます。



「みんなの運動会」では大人と子どもと一緒に競技に参加します。道路の端から端までに渡る長大な綱引きは、昭和40年代にも行われていたという伝統行事。寿の歴史が受け継がれています。



11月の「ことぶき福祉まつり」でみんなで作る大太巻きは、長さ20mを超えます！

12月の「クリスマス点灯式」では、根岸米軍支所、横浜のサッカークラブチームY.S.C.C.や、コトブキンちゃんがサンタとして会場を盛り上げます。

2月には「大・豆まき大会」、「寿大賀詞交歓会」…大小さまざまな「えん」が、寿の住民の方々、関わるの方々により、日々生み出されています。

